



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

鹿児島ワイズメンズクラブ 2014年12月号
No. 294

【国際会長】 Isaac Palathinkal — インド — “Talk Less, Do More” 「言葉より行動を」

【アジア会長】 岡野 泰和 — 大阪土佐堀 — “Start Future Now.” 「未来を始めよう、今すぐに」

【西日本区理事】 松本 武彦 — 大阪 西 — “To walk together, echoing each other.” 「響き合い、ともに歩む」

【九州部長】 亀浦 正行 — 熊本 にし — “Y's spirit, from you to me and from me to you for generations!”
「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」

鹿児島クラブ会長: 松永 英明 『原点を見つめ、情熱と愛情を持って、鹿児島の未来を創造しよう!』



八代ワイズメンズクラブ25周年記念例会参加報告

八代ワイズメンズクラブが創立25周年となり、その記念例会が11月29日(土)に八代ホワイトパレスで行われました。会には西日本区松本武彦理事ご夫妻ほか、県内外の各クラブなどから60名を超える参加者があり盛会でした。鹿児島クラブからは松永、神村、山口、園屋の4ワイズが参加しましたので、報告します。

第1部記念例会では、守田富男会長の挨拶や来賓祝辞のほか、「25年間の活動の歩み」がスライドで紹介されました。特に印象に残ったのは、「デイキャンプ」を長年続けていて、それに関わるボランティアもリーダーとして多数育っているということです。八代クラブは会員数が多いわけではありませんが、この25年間、地についた活動がしっかりとなされ、今後YMCA設立に発展していくことの期待感を感じました。

第2部では、八代市立博物館鳥津亮二氏による講演がありました。鳥津氏は一人一人にとっての「歴史」の意義についてお話しされ、「大河ドラマ」だけが歴史ではないこと、身近に「歴史」が存在すること、そしてその「身近な歴史」を大切にする必要があることなどを、例を交えながら語られました。

第3部祝会は、地元八代の秀岳館高校の和太鼓で始まり、お腹に響くその迫力に参加者一同まず圧倒されました。また、宴の途中で鹿児島クラブから山口眞弓ワイズが登壇し、みんなの「輪」が大切だということを、得意の手品で訴え、華を添えました。

宴の締めには参加者が輪になり、守田ワイズのギター伴奏で「翼をください」を歌い、八代クラブの発展や各クラブの飛躍を願ってお開きとなりました。私たち鹿児島クラブも来年2月14日に25周年記念例会を行いますが、そのときの運営や内容について、多くのヒントを得ることもできて、参加してよかったです。1日でした。

鹿児島ワイズメンズクラブ 園屋 高志



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

鹿児島クラブ会長 松永英明

**「原点を見つめ、情熱と愛情を持って、
鹿児島の未来を創造しよう！」**

早いもので、今年も締めくくりの月となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

先月の例会では、鹿児島クラブの現状と今後について短い時間ではありましたが、話し合いを持つことが出来ました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。少しずつではありますが、進化し続けるために頑張っていきたいと思います。今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。また、25周年例会の進捗状況も実行委員長よりご報告がありました。企画、運営についてたくさんのご意見をいただきました。あと2ヶ月余りになりましたが、鹿児島クラブらしいおもてなしで、25周年例会の成功を目指して一丸となって頑張りましょう。

先月はたくさんの行事等がありながら、なかなか出席できず、皆様には大変ご迷惑をあかけしました。唯一出席できましたのが、29日の八代クラブ25周年記念例会でした。西日本区の松本理事夫妻をはじめ、九州部からたくさんのメンバーが駆けつけていました。本当に最初から最後まで八代クラブのおもてなしの気持ちが満ち溢れ、心温まる素晴らしい記念例会でした。鹿児島クラブにとっては、色々と勉強になりました。

これからが寒さもますます厳しくなりますが、皆様お身体を大切にし元気で新年を迎えましょう。

今月の花



クリスマスホーリー

[西洋柊 (せいようひいらぎ)]

- ヨーロッパ南部地方原産。
- 12月のクリスマスの頃、赤い実をつける。
- 西欧ではこの木を玄関などに飾って魔除けにするらしい。
- 葉っぱのふちはトゲトゲ。
- よく似ているものに「柊蘿 (ひいらぎもち)」がある。
- (日本ではこちらの方が有名)
- 別名 「西洋柊 (せいようひいらぎ)」

西日本区理事 松本武彦

これまで述べてきたことですが、ワイズメンズ運動は、YMCAや地域社会・国際社会への奉仕活動を通じて自己を鍛える機会と交流の喜びを得ることに大きな意義があり、社会的必要性もある、ワイズメンズ運動はまた、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをしている、と確信しています。私たちのワイズメンズ運動は、次世代を担う人々をも励まし続ける貴重な活動であり、これを次世代につなげてゆかなければなりません。そのためには、周りの人たち、特に、次世代を担う若い人たちに、ワイズメンズ運動を、まず、身近なものとして感じ取ってもらう機会を作らなければなりません。周りの人たち、特に若い人たちをクラブ例会やクラブ行事に誘い、私たちのワイズメンズ運動に馴染んでもらいメンバーとなつて貰うための工夫が必要です。クラブ例会を多数参加の盛り上がりのある集いとすることの工夫も大事かと思います。このような機会を作る工夫のひとつとして、西日本区内の各地・クラブにおいて、100人例会や合同例会を開催してビジターを誘い、例会プログラムをワイズと一緒に楽しんで頂く催しが行われています。例会参加者数が多いことは、そのことだけでも、ビジターに対し、参加したことの喜びを大きなものとさせることに繋がります。

先月、我々の仲間二人の力強い社会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されました。福岡中央クラブメンバーであって、1987年、享年68で人生の終末を迎えた杉山龍丸さんのインドにおける緑化運動を取り上げたテレビ東京系11月4日(火)午後7時からの報道番組「ありえへん∞世界<世界と日本の知られざる絆>インド編」がその一つ。二つ目の報道は、鳥取クラブメンバーである藤原和寛さんの、故郷・鳥取県智頭町における地方活性化のためのお働きを取り上げたテレビ朝日系11月15日(土)午後6時からの報道番組「人生の楽園 夫婦で探す故郷の宝」です。藤原さんは、かつて農業で栄えた自分の故郷が次第に衰退していく様子に胸を痛め、故郷をもう一度元気にしたいと5年前、52歳で早期退職し、奥さまと一緒にリターンして、地元の杉を使った木工を始めるとともに農業にも取り組み、地元の活性化につなげるため、廃校となつた地元小学校の校舎にギャラリーをオープンし、また、地元の方々と男子会や女子会をもって懇親するとともに集落の未来へ向けた話し合いをするなどして、地域の活性化のため、日々奮闘しておられます。藤原さんの地元・智頭町での活躍は他の地方の人々にも映って日本のあちこちの地方の方々を勇気づけ励ますでしょう。これらの報道ではお二人がワイズメンであることには触れられていませんが、私たちは、お二人の社会活性化のための力強いお働きに勇気を貰い、これからワイズメンズ運動を盛り上げて行こうではありませんか。



リトルチェリーズ 大西ワイズ「南日本文化賞」受賞

このたび、リトルチェリーズが長年にわたり郷土の文化発展に貢献したことでの受賞をいたしました。

「第65回 南日本文化賞」を受賞いたしました。

11月23日に受賞のお祝いが開催され、理解ある多くの同志が集まりました。

「今後とも受賞にはずかしくない活動を展開し、子供達と共に夢を追い続けます」との大西ワイズの決意がありました。私どもの仲間がこのような栄誉に預かったことを共に喜びましょう。ワイズメンズクラブからも3名が参加いたしました。

記:神村 浩



加治屋町教会バザー YMCAコーナー

11月24日に行われた「加治屋町教会バザー」にYMCAコーナーを出展しました。

「宝ものさがし」は多くのゴム風船の中に宝物があり、子供達は真剣に手をつっこみさがしていました。また、田辺ワイズの工学知識にもとづいた工学実験、手回し発電、電池磁石で魚つり、スターリングエンジン、ピー玉エンジン、など充分楽しめる展示ができました。また、YMCAの宣伝も兼ねPRもしました。

記:神村 浩



市民クリスマス





もうびとこぞいて

諸人(もうびと)こぞりて 迎えまつれ
久しく待ちにし 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

悪魔のひとやを 打ち碎きて
捕虜(とりこ)を放つと 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

この世の闇路を 照らし給う
妙(たえ)なる光の 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

しほめる心の 花を咲かせ
恵みの露おく 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

平和の君なる 御子を迎へ
救いの主とぞ ほめたたえよ
ほめたたえよ ほめ、ほめたたえよ

きよしこのよる

きよしこのよる 星はひかり、
すくいのみ子は まぶねの中に
ねむりたもう、いとやすく。

きよしこのよる み告げうけし
まきびとたちは み子のみ前に
ぬかずきぬ、かしこみて。

きよしこのよる み子の笑みに、
めぐみの み代(みよ)の
あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。





鹿児島クラブ 11月定例会報告

松永 英明

日 時：平成 26 年 11 月 25 日 火曜日
19:00~21:00

場 所：ジェイドガーデンパレス
出席者：15 名
司会者：徳田ワイズ

11月例会の記録

クラブ在籍者	14名
出席者	12名
ネット	2名
ゲスト	1名
ビジター	0名
マイクアップ	0名
11月出席率	85.7%



•ニコニコファンドメッセージ•

11月ニコニコ
ファンド合計金額

6,087円

献金有難う
もしゃげもす。

今日は25周年記念例会のことや今後のクラブの事を話し合うことができてよかったです。大西先生、南日本文化賞おめでとうございます。中松ネットの手品、毎回楽しみにしています！

園屋ワイズ

大西さん南日本文化大賞おめでとうございました。鹿児島YMCAの夢が実現しますように祈ります。

田辺ワイズ

来年の25周年記念例会に向けて皆でいろいろアイデアを出し合っていい会にしたいですね。

園屋ネット

熊本地区ネット交流会の中松ネット会長、園屋様、二人の「希少難病支援活動」についての報告で理解を深めるため DVD を拝聴する例会を持っていただきたいと思いました。

「YMCA ブランドの再生」の原点回帰の見直しの意見交換会の場は窓口を広げることに繋がるのでしょうか。

樋脇ワイズ

鹿児島 YMCA に対するご支援、ご協力よろしくお願いします。

徳田ワイズ

こういう話し合いができたことは、大変有意義だったと思います。今後とも YMCA へのご支援をよろしくお願いします。「ひっ翔べ基金」「YMCA 会員入会」こちらもよろしくお願いします。

中松ワイズ

今年は、県外出張の連続で先日のチャリティーランに出席出来なかったのは実に残念でした！（新内さん、スイモハン）近い将来、ワイズチームも編成できたらいいですね。

中堀ワイズ

ワイズの今後をみんなで話し合って大事ですね。原点に戻る感じでした。

中松ネット

文化賞受賞の御祝いに心のこもった花束をありがとうございました。これからも子供達と皆様で進んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

大西ワイズ

25周年にむけての準備が着々と整っています。わくわくしています。

いい会になりますように…。また、卓話を伺うだけではなく、鹿児島クラブのこれからを話し合うことができました。有意義でした。

山口ワイズ

鹿児島クラブ 2014年12月 定例会

日 時 平成26年12月9日 火曜日

会 場 ジェイドガーデンパレス

司 会 坂口ワイズ

書 記 山口ワイズ

1 開会点鐘	松 永 会 長
2 ワイズソング	全 員
3 会長挨拶	松 永 会 長
4 クリスマスマッセージ		
	①牧師紹介	
	②クリスマスマッセージ	尾崎 和男氏 (鹿児島教会)
	③もろびとこぞりて斎唱	全 員
5 食前感謝	中 松 ワ イ ズ
6 クリスマス会		
	①会食	
	②ゲスト紹介	
	③諸報告	
	④アトラクション	
7 きよしこの夜斎唱	全 員
8 YMCA ソング	全 員
9 なごりはつきねど	全 員
10 閉会点鐘	松 永 会 長

今月の聖句

イエス・キリストの誕生

母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒にになる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。

夫ヨセフは正しい人だったので、マリアのことを表さたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。

このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎えて入れなさい。

マリアの胎の子は聖霊により宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。

この子は自分の民を罪から救うからである。」このすべてのことが起ったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

(マタイによる福音書1章18節)

鹿児島YMCA チェアーダンス「ウイザーズ」全国大会へ

鹿児島YMCA チア全国大会へ

鹿児島YMCAの2チーム

チア全国大会へ

▲南日本新聞 2014年11月28日掲載

行事予定

1月

鹿児島クラブ1月企画例会

日 時：1月 13 日火曜日
19:00~21:00
場 所：珈琲館かみむら

鹿児島クラブ1月定例会

日 時：1月 27 日土曜日
18:00~21:00
場 所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島ワイズメンズクラブ

〈チャータ〉 1990年2月12日

〈事務所〉 〒899-0055 鹿児島県鹿児島市上荒田町 25-19 鹿児島 YMCA

〈定例会〉 每月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス

〈企画例会〉 每月第2火曜日 場所：珈琲館かみむら (時間は企画例会・定例会とも 19:00~21:00まで)

皆様方のエッセイ、記事などお待ちしております。
どうぞ、ご投稿ください。